

高石商工会議所景気観測調査 2021年6月調査

(調査概要)

○調査対象: 高石市内 73 社(業種内訳 製造業14社、建設業13社、小売業・卸売業15社、飲食業15社、サービス業16社)

○調査時期: 2021年6月

○調査項目: 売上高、採算、従業員(人手)状況、業況、資金繰り、新型コロナウイルスの影響

○調査方法: 「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

(全体)



売上高		採算		業況	
増加	10	好転	5	好転	4
不変	17	不変	28	不変	30
減少	46	悪化	40	悪化	39

前々回(2020年7月)、前回(2021年1月)に引き続き、新型コロナウイルスの影響によりすべての業種で**売上高の減少**や**業況感の悪化**が見られる。ただ、先行きについては**悪化するという観測は前回よりは減少**している。資金繰りを注視し、月次支援金等のセーフティネットや**事業再構築補助金**等を活用して事業展開を進めたい。

(製造業)



売上高		採算		業況	
増加	1	好転	1	好転	1
不変	3	不変	9	不変	5
減少	10	悪化	4	悪化	8

イベント中止や取引先減少の影響を受けるなど売上高が大きく減少した事業所もあり、**先行きも厳しくなると予想**されている。**事業再構築補助金**や中小機構のウェブマッチングシステムの**J-GoodTech**の活用などで**新たな取引先の開拓**を進めたい。

(建設業)



売上高		採算		業況	
増加	4	好転	2	不足	1
不変	5	不変	4	不変	8
減少	4	悪化	7	過剰	4

採算は厳しい状況が続いているが売上は改善の兆しがあり、資金繰りが比較的安定するなど他の業種に比べて先行きの懸念は多少やわらいではいるが、**材料費の高騰**など厳しい状況は変わりがない。売り上げの確保の取り組みだけでなく、コロナ特別融資の返済動向など引き続き**資金繰りの注視**を続けたい。

(小売・卸業)



売上高		採算		業況	
増加	2	好転	2	好転	2
不変	4	不変	6	不変	5
減少	9	悪化	7	悪化	8

コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けている業種である。先行きも**さらに悪化が続くと**の予測であり、EC販売の活用など**販売方式の転換や取引先の開拓のために持続化補助金**や**事業再構築補助金の活用**などによる新たな取り組みを進めたい。

(飲食業)



売上高		採算		資金繰り	
増加	1	好転	0	好転	0
不変	0	不変	1	不変	6
減少	14	悪化	14	悪化	9

すべての事業所がコロナウイルス感染拡大の影響を受けており、ほとんどの事業所で売上が減少している。緊急事態宣言やまん延防止措置による時短要請などが繰り返され、**先行きが不透明なことも懸念される点**である。時短要請協力金の入金が遅れ気味であり、ポストコロナに向けた取り組みだけでなく、**資金繰りも注視したい**。

(サービス業)



売上高		採算		業況	
増加	2	好転	0	好転	0
不変	5	不変	8	不変	11
減少	9	悪化	8	悪化	5

新型コロナウイルスの影響を受けていない事業所も一定数ある業種ではあるが、一時支援金の対象になった事業所もあるなど**全体的に厳しい状況が続いている**。先行きも改善の見通しは立っておらず、月次支援金などで資金繰りの悪化を防ぎながら、**持続化補助金などを活用して売上拡大に向けた販路開拓の取り組み**を進めたい。